

福井鉄道設備更新特別支援事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	総合政策部	課名	交通まちづくり課	課長名	猪嶋 宏記																																												
福井ふるさと元気宣言 における位置付け		■ 政推枠	ビジョン [元気な県土]			事業 区分	<input type="checkbox"/> 国庫	<input type="checkbox"/> 実行予算	事業 開始 年度	H20 年度 経過年数 10 年	事業終了 予定年度	H29 年度																																											
関連する県の計画等			政策 [美しい県土、楽しく便利なまちの形成]				<input checked="" type="checkbox"/> 県単	<input checked="" type="checkbox"/> 補助金					<input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> その他																																									
<p>[事業目的]</p> <p>福井鉄道福武線の安全確保等を図るため、福井鉄道福武線協議会で取りまとめた再建方向に基づき、福井鉄道の設備改善等に要する経費に対して支援を行う。</p>																																																							
<p>[事業内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安全確保等のための設備の改善等に対する補助 踏切保安設備の改良、踏切部分のコンクリート板改良 																																																							
<p>[予算額の推移等] (単位：千円)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">区 分</th> <th style="width: 5%;">25年度</th> <th style="width: 5%;">26年度</th> <th style="width: 5%;">27年度</th> <th style="width: 5%;">28年度</th> <th style="width: 5%;">29年度</th> <th style="width: 5%;">30年度</th> <th style="width: 5%;">31年度</th> <th style="width: 40%;">主な増減理由</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>当初予算額の推移</td> <td>252,694</td> <td>179,650</td> <td>174,252</td> <td>177,750</td> <td>13,539</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2月現計予算額の推移</td> <td>252,694</td> <td>179,650</td> <td>174,252</td> <td>206,300</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>決算額の推移</td> <td>251,765</td> <td>179,650</td> <td>174,150</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>													区 分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	主な増減理由	当初予算額の推移	252,694	179,650	174,252	177,750	13,539				2月現計予算額の推移	252,694	179,650	174,252	206,300					決算額の推移	251,765	179,650	174,150												
区 分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	主な増減理由																																															
当初予算額の推移	252,694	179,650	174,252	177,750	13,539																																																		
2月現計予算額の推移	252,694	179,650	174,252	206,300																																																			
決算額の推移	251,765	179,650	174,150																																																				
<p>[成果指標等の推移]</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">区 分</th> <th style="width: 5%;">25年度</th> <th style="width: 5%;">26年度</th> <th style="width: 5%;">27年度</th> <th style="width: 5%;">28年度</th> <th style="width: 5%;">29年度</th> <th style="width: 5%;">30年度</th> <th style="width: 5%;">31年度</th> <th style="width: 40%;">目標・指標の考え方・積算根拠</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>成果指標</td> <td>(目標)</td> <td>(1,924)</td> <td>(1,930)</td> <td>(1,936)</td> <td>(1,944)</td> <td>(2,010)</td> <td></td> <td rowspan="2">福井鉄道福武線の年間利用人員 (単位：千人) 目標：年間利用者数2,010千人 (H29年度)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>実績</td> <td>1,902</td> <td>1,934</td> <td>1,984</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>活動指標</td> <td>(目標)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td rowspan="2">福井鉄道の設備改善等に要する経費に対して支援を行うものであり、 活動指標の設定になじまない。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>実績</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>													区 分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	目標・指標の考え方・積算根拠	成果指標	(目標)	(1,924)	(1,930)	(1,936)	(1,944)	(2,010)		福井鉄道福武線の年間利用人員 (単位：千人) 目標：年間利用者数2,010千人 (H29年度)		実績	1,902	1,934	1,984				活動指標	(目標)							福井鉄道の設備改善等に要する経費に対して支援を行うものであり、 活動指標の設定になじまない。		実績						
区 分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	目標・指標の考え方・積算根拠																																															
成果指標	(目標)	(1,924)	(1,930)	(1,936)	(1,944)	(2,010)		福井鉄道福武線の年間利用人員 (単位：千人) 目標：年間利用者数2,010千人 (H29年度)																																															
	実績	1,902	1,934	1,984																																																			
活動指標	(目標)							福井鉄道の設備改善等に要する経費に対して支援を行うものであり、 活動指標の設定になじまない。																																															
	実績																																																						
<p>[財源内訳・事業主体等]</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 5%;">区分</th> <th style="width: 10%;">事業費</th> <th style="width: 10%;">国庫</th> <th style="width: 10%;">起債</th> <th style="width: 10%;">その他</th> <th style="width: 10%;">一般財源</th> <th style="width: 10%;">事業主体</th> <th style="width: 10%;">福井鉄道株式会社</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>予算額</td> <td>13,539</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>13,539</td> <td>事業実施方法</td> <td>補助</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>補助率</td> <td>国1/2、県1/2</td> </tr> </tbody> </table>													区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体	福井鉄道株式会社	予算額	13,539				13,539	事業実施方法	補助							補助率	国1/2、県1/2																			
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体	福井鉄道株式会社																																																
予算額	13,539				13,539	事業実施方法	補助																																																
						補助率	国1/2、県1/2																																																

事業評価

事業名	福井鉄道設備更新特別支援事業	部局名	総合政策部	課名	交通まちづくり課	課長名	猪嶋 宏記
<p>[事業の必要性・要求の背景]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成20年度に、国土交通大臣により認定された鉄道事業再構築実施計画に基づいて実施されている事業 ・平成20年度～平成29年度の10年間について、県、沿線3市等が連携して支援を行い、福井鉄道の再建化を図る 							
<p>[受益者]</p> 福井鉄道				<p>[想定される受益者数]</p> 福井鉄道利用人員 約198万人/年（平成27年度時点）			
他県の状況	(石川県) ・国の鉄道軌道安全輸送設備等整備事業への協調補助として「北陸鉄道」と「のと鉄道」に補助（両鉄道事業者：国1/3、県1/3） (富山県) ・国の鉄道軌道安全輸送設備等整備事業に対する補助として「(路)万葉線」と「富山地方鉄道」に補助（万葉線：国1/3、県1/3 富山地方鉄道：国1/3、県1/4）	前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)				
関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 路面電車走行空間快適化事業 (役割分担) ・当該事業では、福井鉄道福武線の鉄道区間における設備投資を行う。 ・軌道区間におけるレールの設備投資については、関連事業の路面電車走行空間快適化事業にて実施	市町との連携状況	・福井鉄道に対して、平成20年度～平成29年度の10年間で県が設備投資19億円、沿線市が維持修繕費を12億円の補助を行う。				
<p>[事業の評価]</p>							
前年度の実績		実績を踏まえた29年度の変更点		事業評価			
平成27年度実績 ・目標利用人員193.6万人に対して、198.4万人達成		・計画どおり事業を実施見込み		<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
				<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
				<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

福井城址周辺の鉄道交通環境整備事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	総合政策部	課名	交通まちづくり課	課長名	猪嶋 宏記	
福井ふるさと元気宣言 における位置付け		■ 政推枠	ビジョン [元気な県土] 政策 [美しい県土、楽しく便利なまちの形成]			事業 区 分	<input type="checkbox"/> 国庫 <input checked="" type="checkbox"/> 県単 <input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業 開始 年度	H28 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度	H29 年度
関連する県の計画等			[福井県高速交通開通アクション・プログラム]									
[事業目的] 福井鉄道の市役所前電停は、路面軌道区間にあつてバリアフリー化が行われていない最後の電停である。福井城址を核としたまちづくりに向け、玄関口となる当該電停について、福井鉄道が実施する改修経費に対して支援を行う。												
[事業内容] ・市役所前電停の整備に対する補助 1 ホーム工事 2 電気設備工事 3 電停サイン工												
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	主な増減理由			
当初予算額の推移						34,155						
2月現計予算額の推移					19,845							
決算額の推移												
[成果指標等の推移]												
区 分		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	福井鉄道利用人員	(目標) 1,924	(1,930)	(1,936)	(1,944)	(2,010)			福井鉄道福武線の年間利用人員(単位：千人) 目標：年間利用者数2,010千人(H29年度)			
		実績 1,902	1,934	1,984								
活動指標		(目標)							福井鉄道が実施する市役所前電停の改修経費に対して支援を行うものであり、活動指標の設定になじまない。			
		実績										
[財源内訳・事業主体等]												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体	福井鉄道株式会社					
予算額	34,155				34,155	事業実施方法	補助					
						補助率	国1/3、県・市2/3					

事業評価

事業名	福井城址周辺の鉄道交通環境整備事業	部局名	総合政策部	課名	交通まちづくり課	課長名	猪嶋 宏記	
[事業の必要性・要求の背景]								
<p>現在の市役所前電停は、上りホームと下りホームとが道路中央部において離れて設置されているため、乗り換えに地下道を経由しなければならず不便な構造となっている。また、上下ホームにスロープが未設置であり、中部運輸局からバリアフリー化が求められているため、早急に改修する必要がある。</p>								
[受益者]				[想定される受益者数]				
福井鉄道福武線利用者				約198万人（福井鉄道福武線利用人員・平成27年度末時点実績）				
他県の状況	(石川県) ・国の鉄道軌道安全輸送設備等整備事業への協調補助として「北陸鉄道」と「のと鉄道」に補助（両鉄道事業者：国1/3、県1/3） (富山県) ・国の鉄道軌道安全輸送設備等整備事業に対する補助として「(路)万葉線」と「富山地方鉄道」に補助（万葉線：国1/3、県1/3 富山地方鉄道：国1/3、県1/4）	前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					
関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 福井鉄道設備更新特別支援事業 (役割分担) ・当該事業では軌道区間における安全確保等のための設備の改善等への支援を実施 ・福井鉄道福武線の鉄道区間における安全確保等のための設備の改善等への支援については、関連事業の路面電車走行空間快適化事業にて実施	市町との連携状況	・福井鉄道設備更新特別支援事業と合わせて、県と沿線3市の負担割合を2：1で調整 ・現時点で県36億円、沿線市16億円の費用負担であり、沿線3市に対して2億円の費用負担を調整中					
[事業の評価]								
前年度の実績		実績を踏まえた29年度の変更点			事業評価			
設計および上りホーム工事に着手。		福井国体までの完成を目指し、引き続き必要な工事を進める。			<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
					<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
					<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

えちぜん鉄道基盤整備支援事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	総合政策部	課名	交通まちづくり課	課長名	猪嶋 宏記																																											
福井ふるさと元気宣言における位置付け		■ 政推枠	ビジョン [元気な県土]			事業 区分	<input type="checkbox"/> 国庫	<input type="checkbox"/> 実行予算	事業 開始 年度	H14 年度 経過年数 16 年	事業終了 予定年度 H33 年度	H33 年度																																										
関連する県の計画等			政策 [美しい県土、楽しく便利なまちの形成]				<input checked="" type="checkbox"/> 県単	<input checked="" type="checkbox"/> 補助金					<input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> その他																																								
<p>[事業目的]</p> <p>地域住民の生活交通の確保を図るため、県と沿線市町との合意に基づき、えちぜん鉄道が実施する設備投資に要する経費等、鉄道経営の基盤整備に必要な経費に対して補助する。</p>																																																						
<p>[事業内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 土地建物賃借料補助 資産取得交渉を継続している鉄道事業に供する土地・建物の賃借料に対する補助 																																																						
<p>[予算額の推移等] (単位：千円)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">区 分</th> <th style="width: 5%;">25年度</th> <th style="width: 5%;">26年度</th> <th style="width: 5%;">27年度</th> <th style="width: 5%;">28年度</th> <th style="width: 5%;">29年度</th> <th style="width: 5%;">30年度</th> <th style="width: 5%;">31年度</th> <th style="width: 50%;">主な増減理由</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>当初予算額の推移</td> <td>199,470</td> <td>206,044</td> <td>69,845</td> <td>177,826</td> <td>2,300</td> <td>93,983</td> <td>91,999</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2月現計予算額の推移</td> <td>199,470</td> <td>137,576</td> <td>69,845</td> <td>339,773</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>決算額の推移</td> <td>199,029</td> <td>136,416</td> <td>66,935</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>												区 分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	主な増減理由	当初予算額の推移	199,470	206,044	69,845	177,826	2,300	93,983	91,999		2月現計予算額の推移	199,470	137,576	69,845	339,773					決算額の推移	199,029	136,416	66,935												
区 分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	主な増減理由																																														
当初予算額の推移	199,470	206,044	69,845	177,826	2,300	93,983	91,999																																															
2月現計予算額の推移	199,470	137,576	69,845	339,773																																																		
決算額の推移	199,029	136,416	66,935																																																			
<p>[成果指標等の推移]</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">区 分</th> <th style="width: 5%;">25年度</th> <th style="width: 5%;">26年度</th> <th style="width: 5%;">27年度</th> <th style="width: 5%;">28年度</th> <th style="width: 5%;">29年度</th> <th style="width: 5%;">30年度</th> <th style="width: 5%;">31年度</th> <th style="width: 40%;">目標・指標の考え方・積算根拠</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>成果指標</td> <td colspan="2">えちぜん鉄道利用人員 (目標)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td rowspan="2">えちぜん鉄道の年間利用人員 (単位：千人) 目標：年間利用者数3,330千人 (H33年度)</td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="2">実績</td> <td>3,297</td> <td>3,289</td> <td>3,459</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>活動指標</td> <td colspan="2">(目標)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td rowspan="2">えちぜん鉄道が実施する設備投資に要する経費等、鉄道経営の基盤整備に必要な経費に対して補助するものであり、活動指標の設定になじまない。</td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="2">実績</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>												区 分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	目標・指標の考え方・積算根拠	成果指標	えちぜん鉄道利用人員 (目標)							えちぜん鉄道の年間利用人員 (単位：千人) 目標：年間利用者数3,330千人 (H33年度)		実績		3,297	3,289	3,459			活動指標	(目標)							えちぜん鉄道が実施する設備投資に要する経費等、鉄道経営の基盤整備に必要な経費に対して補助するものであり、活動指標の設定になじまない。		実績						
区 分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	目標・指標の考え方・積算根拠																																														
成果指標	えちぜん鉄道利用人員 (目標)							えちぜん鉄道の年間利用人員 (単位：千人) 目標：年間利用者数3,330千人 (H33年度)																																														
	実績		3,297	3,289	3,459																																																	
活動指標	(目標)							えちぜん鉄道が実施する設備投資に要する経費等、鉄道経営の基盤整備に必要な経費に対して補助するものであり、活動指標の設定になじまない。																																														
	実績																																																					
<p>[財源内訳・事業主体等]</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 5%;">区分</th> <th style="width: 15%;">事業費</th> <th style="width: 15%;">国庫</th> <th style="width: 15%;">起債</th> <th style="width: 15%;">その他</th> <th style="width: 15%;">一般財源</th> <th style="width: 10%;">事業主体</th> <th style="width: 10%;">えちぜん鉄道株式会社</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>予算額</td> <td>2,300</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>2,300</td> <td>事業実施方法</td> <td>補助</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>補助率</td> <td>県10/10</td> </tr> </tbody> </table>												区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体	えちぜん鉄道株式会社	予算額	2,300				2,300	事業実施方法	補助							補助率	県10/10																			
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体	えちぜん鉄道株式会社																																															
予算額	2,300				2,300	事業実施方法	補助																																															
						補助率	県10/10																																															

事業評価

事業名	えちぜん鉄道基盤整備支援事業	部局名	総合政策部	課名	交通まちづくり課	課長名	猪嶋 宏記	
<p>[事業の必要性・要求の背景]</p> <p>・えちぜん鉄道沿線市町と県の支援の役割分担に基づき、「社会資本の維持に必要な経費」は沿線市町、「安全な鉄道運行に必要な設備投資」および「鉄道運行に必要な資産取得等」は県が支援することで合意している。</p>								
<p>[受益者]</p> <p>えちぜん鉄道</p>				<p>[想定される受益者数]</p> <p>えちぜん鉄道利用人員 約346万人/年（平成27年度時点）</p>				
他県の状況	<p>(石川県)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国の鉄道軌道安全輸送設備等整備事業への協調補助として「北陸鉄道」と「のと鉄道」に補助（両鉄道事業者：国1/3、県1/3） <p>(富山県)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国の鉄道軌道安全輸送設備等整備事業に対する補助として「(路)万葉線」と「富山地方鉄道」に補助（万葉線：国1/3、県1/3 富山地方鉄道：国1/3、県1/4） 	前事業の有無・実績	<p><input type="checkbox"/> 無</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 えちぜん鉄道基盤整備支援事業</p> <p>(実績)</p> <p>・えちぜん鉄道が実施する安全性確保のための設備投資に対して補助を行ってきた。その結果、列車集中制御化や変電所の改良といった大規模な設備投資については、ほぼ完了</p>					
関連事業の有無・役割分担	<p><input checked="" type="checkbox"/> 無</p> <p><input type="checkbox"/> 有 事業名</p> <p>(役割分担)</p>	市町との連携状況	<p>・えちぜん鉄道に対して、平成24年度～平成33年度の10年間で県が設備投資約13億円、沿線市が経営支援として約22億円の補助を行う。</p>					
<p>[事業の評価]</p>								
前年度の実績		実績を踏まえた29年度の変更点			事業評価			
<p>平成27年度実績</p> <p>・目標利用人員が前年度比約105.2%と増</p>		<p>・計画どおり事業を実施見込み</p>			<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
					<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
					<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

えちぜん鉄道高架化支援事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	総合政策部	課名	交通まちづくり課	課長名	猪嶋 宏記	
福井ふるさと元気宣言 における位置付け		■ 政推枠 ビジョン	[元気な県土]			事業 区 分	<input type="checkbox"/> 国庫	<input type="checkbox"/> 実行予算	事業 開始 年度	H16 年度 経過年数 14 年	事業終了 予定年度	H30 年度
関連する県の計画等		政策	[美しい県土、楽しく便利なまちの形成]				<input checked="" type="checkbox"/> 県単	<input checked="" type="checkbox"/> 補助金				
[事業目的]												
えちぜん鉄道の定時性や安全性の確保を図るため、県と沿線市町との合意に基づき、福井・福井口間の高架化に要する経費に対して補助する。												
[事業内容]												
連続立体交差事業による鉄道事業者負担分について、県2/3、沿線市町1/3の補助を行う												
			鉄道事業者負担分	県	沿線市町							
高架工事			228,952	152,635	76,317							
調査設計業務			4,085	2,710	1,355							
借地料			1,408	937	469							
交差道路工事			5,013	3,342	1,671							
えち鉄福井駅舎			12,363	8,242	4,121							
計			251,799	167,866	83,933							
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分			25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	主な増減理由		
当初予算額の推移			51,140	232,400	113,525	244,850	167,866	167,866				
2月現計予算額の推移			18,195	176,122	70,898	167,819						
決算額の推移			18,194	129,403	62,770							
[成果指標等の推移]												
区 分			25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	目標・指標の考え方・積算根拠		
成果指標	えちぜん鉄道利用人員	(目標)								えちぜん鉄道の年間利用人員(単位：千人) 目標：年間利用者数3,330千人(H33年度)		
		実績	3,297	3,289	3,459							
活動指標		(目標)								えちぜん鉄道福井・福井口間の高架化に要する経費に対して補助する ものであり、活動指標の設定になじまない。		
		実績										
[財源内訳・事業主体等]												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体	えちぜん鉄道株式会社					
予算額	167,866		167,000		866	事業実施方法	補助					
						補助率	県2/3、市町1/3					

事業評価

事業名	えちぜん鉄道高架化支援事業	部局名	総合政策部	課名	交通まちづくり課	課長名	猪嶋 宏記	
[事業の必要性・要求の背景]								
えちぜん鉄道を高架化することにより、踏切を除去し、東西交通の円滑化を図り、地域の活性化につなげる。 ・踏切がなくなり、交通渋滞や事故が解消 ・鉄道と交差する道路が新しく、広く整備される ・駅周辺の効率的な土地利用が可能となる ほか								
[受益者]				[想定される受益者数]				
県民、市民など				—				
他県の状況	—			前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)			
関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 福井駅付近連続立体交差事業 (役割分担) 都市計画事業者(都市計画課)が福井駅付近の連続立体交差事業(えちぜん鉄道の高架化)を実施。			市町との連携状況	えちぜん鉄沿線市町はえちぜん鉄道負担分の1/3を支援しており、県と協働して事業を推進している。			
[事業の評価]								
前年度の実績		実績を踏まえた29年度の変更点			事業評価			
えちぜん鉄道の仮線運行に必要な業務を行なえたことから順調に工事は進んでいる。 ※平成27年9月27日仮線運行開始(宝永踏切・日之出踏切廃止)		福井国体までの高架化完成を目指し、引き続き必要な工事を進める。			<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
					<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
					<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

嶺南地域鉄道事業化推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	内	部局名	総合政策部	課名	交通まちづくり課	課長名	猪嶋 宏記																																			
福井ふるさと元気宣言における位置付け	<input type="checkbox"/>	政推枠	ビジョン [元気な県土]			事業区分	<input type="checkbox"/> 国庫	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算	事業開始年度	H9 年度	事業終了予定年度	H29 年度																																		
関連する県の計画等		政策	[美しい県土、楽しく便利なまちの形成]				<input checked="" type="checkbox"/> 県単	<input type="checkbox"/> 補助金		経過年数																																				
			[]			<input type="checkbox"/> その他	<input checked="" type="checkbox"/> その他		21 年																																					
<p>[事業目的]</p> <p>嶺南地域鉄道事業化検討協議会において、嶺南地域鉄道整備のための諸課題について検討を行い、事業の推進を図る。</p>																																														
<p>[事業内容]</p> <p>検討協議会、幹事会（構成：嶺南市町、嶺南広域行政組合、県）の開催、鉄道利用促進策や琵琶湖若狭湾快速鉄道建設の中止決定を受け、今後の対応に向けた基金の活用策について検討</p>																																														
<p>[予算額の推移等] (単位：千円)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">区 分</th> <th style="width: 5%;">25年度</th> <th style="width: 5%;">26年度</th> <th style="width: 5%;">27年度</th> <th style="width: 5%;">28年度</th> <th style="width: 5%;">29年度</th> <th style="width: 5%;">30年度</th> <th style="width: 5%;">31年度</th> <th style="width: 40%;">主な増減理由</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>当初予算額の推移</td> <td style="text-align: center;">1,058</td> <td style="text-align: center;">952</td> <td style="text-align: center;">856</td> <td style="text-align: center;">396</td> <td style="text-align: center;">396</td> <td></td> <td></td> <td rowspan="3" style="vertical-align: top;">琵琶湖若狭湾快速鉄道事業の中止を受け、今後の対応、基金の使途を検討する必要があるため、昨年度と同額。</td> </tr> <tr> <td>2月現計予算額の推移</td> <td style="text-align: center;">1,058</td> <td style="text-align: center;">952</td> <td style="text-align: center;">856</td> <td style="text-align: center;">396</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>決算額の推移</td> <td style="text-align: center;">813</td> <td style="text-align: center;">886</td> <td style="text-align: center;">816</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>												区 分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	主な増減理由	当初予算額の推移	1,058	952	856	396	396			琵琶湖若狭湾快速鉄道事業の中止を受け、今後の対応、基金の使途を検討する必要があるため、昨年度と同額。	2月現計予算額の推移	1,058	952	856	396				決算額の推移	813	886	816					
区 分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	主な増減理由																																						
当初予算額の推移	1,058	952	856	396	396			琵琶湖若狭湾快速鉄道事業の中止を受け、今後の対応、基金の使途を検討する必要があるため、昨年度と同額。																																						
2月現計予算額の推移	1,058	952	856	396																																										
決算額の推移	813	886	816																																											
<p>[成果指標等の推移]</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">区 分</th> <th style="width: 5%;">25年度</th> <th style="width: 5%;">26年度</th> <th style="width: 5%;">27年度</th> <th style="width: 5%;">28年度</th> <th style="width: 5%;">29年度</th> <th style="width: 5%;">30年度</th> <th style="width: 5%;">31年度</th> <th style="width: 40%;">目標・指標の考え方・積算根拠</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>成果指標</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td rowspan="2" style="vertical-align: top;">今後の対応、基金の使途について検討を行うものであり、成果指標の設定になじまない。</td> </tr> <tr> <td>活動指標</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>検討協議会（幹事会）等 開催回数</td> <td>(目標) 実績</td> <td style="text-align: center;">(6) 3</td> <td style="text-align: center;">(6) 4</td> <td style="text-align: center;">(6) 2</td> <td style="text-align: center;">(6)</td> <td style="text-align: center;">(6)</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>												区 分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	目標・指標の考え方・積算根拠	成果指標								今後の対応、基金の使途について検討を行うものであり、成果指標の設定になじまない。	活動指標									検討協議会（幹事会）等 開催回数	(目標) 実績	(6) 3	(6) 4	(6) 2	(6)	(6)	
区 分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	目標・指標の考え方・積算根拠																																						
成果指標								今後の対応、基金の使途について検討を行うものであり、成果指標の設定になじまない。																																						
活動指標																																														
	検討協議会（幹事会）等 開催回数	(目標) 実績	(6) 3	(6) 4	(6) 2	(6)	(6)																																							
<p>[財源内訳・事業主体等]</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 5%;">区分</th> <th style="width: 10%;">事業費</th> <th style="width: 10%;">国庫</th> <th style="width: 10%;">起債</th> <th style="width: 10%;">その他</th> <th style="width: 10%;">一般財源</th> <th style="width: 10%;">事業主体</th> <th style="width: 10%;">県、嶺南地域鉄道事業化検討協議会</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>予算額</td> <td style="text-align: center;">396</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">396</td> <td>事業実施方法</td> <td>直営、負担金</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>補助率</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>												区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体	県、嶺南地域鉄道事業化検討協議会	予算額	396				396	事業実施方法	直営、負担金							補助率												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体	県、嶺南地域鉄道事業化検討協議会																																							
予算額	396				396	事業実施方法	直営、負担金																																							
						補助率																																								

事業評価

事業名	嶺南地域鉄道事業化推進事業	部局名	総合政策部	課名	交通まちづくり課	課長名	猪嶋 宏記
<p>[事業の必要性・要求の背景]</p> <p>嶺南地域住民の生活の利便性向上および関西・中京圏との広域的交通ネットワークの構築による地域の活性化に向け、嶺南地域鉄道の整備を推進している。これまで、JR小浜線の電化、敦賀までの直流化を実現したが、琵琶湖若狭湾快速鉄道の事業化中止を受け、基金の活用策について嶺南市町とともに検討する。</p>							
<p>[受益者]</p> <p>嶺南地域住民など</p>				<p>[想定される受益者数]</p> <p>138,798人 (H28.9.1現在 推計人口)</p>			
他県の状況		前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)				
関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)	市町との連携状況	嶺南地域鉄道事業化検討協議会に、嶺南の副市町長が委員として参画し協議を行っている。				
<p>[事業の評価]</p>							
前年度の実績		実績を踏まえた29年度の変更点		事業評価			
嶺南市町とともに協議会等を4回開催するとともに、滋賀県とも協議を行った。		琵琶湖若狭湾快速鉄道事業の中止を受け、基金の活用策を検討する。		<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
				<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
				<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

嶺南地域鉄道整備対策事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	総合政策部	課名	交通まちづくり課	課長名	猪嶋 宏記	
福井ふるさと元気宣言 における位置付け		■ 政推枠	ビジョン [元気な県土]			事業 区分	<input type="checkbox"/> 国庫	<input type="checkbox"/> 実行予算	事業 開始 年度	H10 年度 経過年数 20 年	事業終了 予定年度	H28 年度
関連する県の計画等			政策 [美しい県土、楽しく便利なまちの形成]				<input checked="" type="checkbox"/> 県単	<input type="checkbox"/> 補助金				
[事業目的] 嶺南琵琶湖若狭湾快速鉄道の早期実現を図る。												
[事業内容] 琵琶湖若狭湾快速鉄道建設の建設に向けた事業費確保のため、地域振興基金に積立てを行う。 (敦賀までの直流化工事は平成18年度完了)												
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	主な増減理由			
当初予算額の推移		300,000	300,000	300,000	300,000	0						
2月現計予算額の推移		300,000	300,000	300,000	0							
決算額の推移		300,000	300,000	300,000								
[成果指標等の推移]												
区 分		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	(目標) 実績								琵琶湖若狭湾快速鉄道の建設			
活動指標	県の基金積立累計額 (目標) 実績	6,700,000	7,000,000	7,300,000	7,300,000							
[財源内訳・事業主体等]												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体		県				
予算額	0				0	事業実施方法		積立金				
						補助率						

事業評価

事業名	嶺南地域鉄道整備対策事業	部局名	総合政策部	課名	交通まちづくり課	課長名	猪嶋 宏記
<p>[事業の必要性・要求の背景]</p> <p>嶺南地域鉄道整備については、これまで、小浜線電化（平成15年3月完了）、敦賀までの直流化（平成18年3月完了）を実施したが、残された琵琶湖若狭湾快速鉄道の実現に向け、地域の期待に応え、県と嶺南市町が一体となって事業を推進する姿勢をJR等関係機関に示す必要がある。</p>							
[受益者]				[想定される受益者数]			
嶺南地域住民など				138,798人（H28.9.1現在 推計人口）			
他県の状況		前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 （実績）				
関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 嶺南地域鉄道事業化推進事業 （役割分担） 嶺南各市町とともに、小浜線と新快速の利用促進や琵琶湖若狭湾快速鉄道実現に向けて諸課題の検討等を行う。		市町との連携状況	嶺南の各市町においては、平成9年度から積立を行っている。			
[事業の評価]							
前年度の実績		実績を踏まえた29年度の変更点		事業評価			
嶺南各市町も積立を継続しており、県としても地域振興基金に積立を実施。		新幹線小浜・京都ルート決定を受け、市町が嶺南広域行政組合へ行っていた嶺南鉄道整備基金への積立を取り止める意向であることから、県も同様に積立を取り止める。		<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
				<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	△ 300,000
				<input type="checkbox"/> 整理統合	<input checked="" type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

生活バス路線確保対策事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	総合政策部	課名	交通まちづくり課	課長名	猪嶋 宏記
福井ふるさと元気宣言における位置付け		■ 政推枠	ビジョン [元気な県土]			事業区分	<input type="checkbox"/> 国庫	<input type="checkbox"/> 実行予算	事業開始年度 H13 年度 経過年数 17 年	事業終了 予定年度 H30 年度	H30 年度
関連する県の計画等			政策 []				<input checked="" type="checkbox"/> 県単	<input checked="" type="checkbox"/> 補助金			
[事業目的] 地域住民の生活に必要な生活バス路線の運行を維持し、地域住民の福祉向上を図る。											
[事業内容] ○生活バス路線維持のための補助 ① 地域間幹線系統確保維持費補助、車両減価償却費等補助（国庫） ② 広域生活バス路線維持対策事業補助（県単：複数市町運行系統） ③ 市町生活交通維持支援事業補助（県単：同一市町内運行系統）											
[予算額の推移等] （単位：千円）											
区 分		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	主な増減理由		
当初予算額の推移		422,387	445,724	461,069	461,946	463,764	463,764		地域公共交通網再編に伴う国庫補助路線の増加 車両更新台数の増加		
2月現計予算額の推移		420,711	445,724	459,482	461,946						
決算額の推移		417,328	440,178	453,703							
[成果指標等の推移]											
区 分		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	目標・指標の考え方・積算根拠		
成果指標	バス利用者数	(目標)		(6,104)	(6,073)	(6,030)	(5,993)		乗合バス（路線バス・コミバス等を含む）の年間利用人員数 （単位：千人）		
		実績	6,197	6,141	5,884						
活動指標	補助対象バス実車走行キロ	(目標)				(8,667)	(8,667)		乗合バス（路線バス・コミバス等を含む）の年間実車走行キロ （単位：千km）		
		実績	8,875	9,058	9,039	8,667					
[財源内訳・事業主体等]											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体		交通事業者、各市町			
予算額	463,764				463,764	事業実施方法		補助			
						補助率		①国・県各1/2 ②③県・市町各1/2			

事業評価

事業名	生活バス路線確保対策事業	部局名	総合政策部	課名	交通まちづくり課	課長名	猪嶋 宏記	
<p>[事業の必要性・要求の背景]</p> <p>本県は、一世帯当たりのクルマ所有台数が全国トップクラスで、県民の日常生活におけるクルマの依存度は高いものの、県内のバス路線は、クルマを使うことができない高校生の通学や、運転免許を持っていない高齢者の通院の足として必要不可欠である。</p> <p>バスの輸送人員は、人口減少や少子化の影響により減少傾向にあり、運賃収入では運行経費をまかなうことができず、行政の支援がなければ、生活バス路線を維持することはできない。</p> <p>併せて、平成34年の北陸新幹線敦賀開業に向け、県民の新幹線駅へのアクセス、来県者の円滑な移動手段確保のためにも、バス路線の維持が不可欠である。</p>								
[受益者]				[想定される受益者数]				
バス利用者（通学者、通勤者、高齢者、来県者等）				600万人（年間のべ人数）				
他県の状況	<p>（富山県）</p> <p>①地域間幹線系統確保維持費補助、車両減価償却費等補助</p> <p>②生活路線運行費補助金（同一市町村内の路線でも補助対象となる以外、国庫補助と同じ規定）</p> <p>③市町村運行バス路線対策費補助金（コミバス）</p> <p>④NPO過疎地バス路線支援事業費補助金</p> <p>（石川県）</p> <p>①地域間幹線系統確保維持費補助、車両減価償却費等補助</p> <p>②県単運行費補助、車両購入費補助</p>	前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 バス事業活性化対策推進事業 （実績） ノンステップバスの導入および廃止路線代替バスの運行費に対する補助のみであったが、バス利用者数の減少等により事業者の採算性の確保が困難となってきたことや市町コミュニティバスの導入が進んできたことから、広域路線の運行費については事業者に、同一市町内路線の運行費については市町に補助を行っている。					
関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 クルマに頼り過ぎない社会づくり推進事業 （役割分担） 公共交通機関の利用を促進するため、過度なクルマ依存の抑制に向けた普及啓発を実施 また、市町等が行う公共交通機関・自転車の利活用拡大を図るための施設整備等への支援を実施		市町との連携状況	各市町は、コミバスや乗合タクシーの運行および市町内の路線バスへの補助を行い地域の生活交通の確保に努めており、県は市町のこれらの取組みに対し補助を行っている。				
[事業の評価]								
前年度の実績		実績を踏まえた29年度の変更点			事業評価			
バス停新設、ダイヤ・ルート見直し等の利便性向上を図ったが、人口減少や少子化等の影響により、バス利用者数は減少した。		市町や交通事業者とともに、利用状況や交通空白地域の把握を行い、人口減少や少子高齢化が進む中、地域にとって最適な公共交通ネットワークについて協議していく。			<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
					<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
					<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

クルマに頼り過ぎない社会づくり推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	総合政策部	課名	交通まちづくり課	課長名	猪嶋 宏記	
福井ふるさと元気宣言 における位置付け		■ 政推枠	ビジョン [元気な県土]			事業 区分	<input type="checkbox"/> 国庫	■ 実行予算	事業 開始 年度	H19 年度	事業終了 予定年度	H30 年度
関連する県の計画等			政策 [美しい県土、楽しく便利なまちの形成]				<input checked="" type="checkbox"/> 県単	■ 補助金		経過年数		
			[]				<input type="checkbox"/> その他	■ その他		11 年		
<p>[事業目的]</p> <p>過度なクルマ利用を見直し、公共交通機関や自転車等への転換を促すカー・セーブ運動を「クルマに頼り過ぎない社会づくり推進県民会議」が中心となり、社会全体で取り組む県民運動として推進する。 また、持続可能な公共交通網の整備や自転車の利用環境整備、企業団体が行うカー・セーブに関連する運動を支援する。</p>												
<p>[事業内容]</p> <p>○クルマに頼り過ぎない社会づくり推進県民会議の負担金 ・ 県民会議を中心として県内各地の関連イベントでの啓発活動等による県民へのカー・セーブ運動の周知・PRの実施、バイコロジー活動に対する支援</p> <p>○おもしろ自転車・オランダ自転車の活用等</p> <p>○持続可能な公共交通網の整備や自転車の利用環境整備等への支援 ・ 支援対象事業 乗継拠点となりうるバス停・駅の施設整備（バス停上屋、案内表示） 乗継拠点駅でのパーク＆ライド・パーク＆サイクルライド実施にかかる施設整備 コミュニティサイクルの導入 「自転車の駅」の整備 など</p>												
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	主な増減理由			
当初予算額の推移		17,916	18,190	14,337	14,093	13,481	13,481					
2月現計予算額の推移		11,424	10,530	14,337	14,093							
決算額の推移		10,557	9,068	13,514								
[成果指標等の推移]												
区 分		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	県内公共交通機関利用者数 (目標)			(11,360)	(11,353)	(11,336)	(11,315)		鉄道は連携計画記載の目標利用人数により、バスはや人口減少率をもとに算出。			
	実績	11,396	11,360	11,433								
活動指標	カー・セーブ参加企業 (目標)	(230)	(250)	(260)	(270)	(270)	(270)		引き続き、新規参加企業・団体を募集するとともに、既存の企業・団体へのフォローアップを促進する。(感謝状贈呈)			
	実績	231	251	251								
[財源内訳・事業主体等]												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体		県、県民会議、各市町、交通事業者など				
予算額	13,481				13,481	事業実施方法		負担金、直営、補助				
						補助率		県1/2、10/10				

事業評価

事業名	部局名	総合政策部	課名	交通まちづくり課	課長名	猪嶋 宏記
<p>[事業の必要性・要求の背景]</p> <p>本県は、一世帯当たりのクルマ所有台数が全国トップクラスであり、さらに、人口減少や運転免許を保有する高齢者の増加を背景に、公共交通機関の利用者数が減少し続けている。</p> <p>しかし、公共交通機関は、特に車を運転できない高校生や高齢者の生活の足として、今後も維持していく必要がある。また、交通渋滞の解消、さらには地球温暖化への対応の観点からも、過度なクルマ利用を控え、環境にやさしい公共交通機関や自転車の利用を促進することが大切である。</p> <p>そこで、行政・交通事業者・企業・団体等で構成する県民会議が中心となり、「カー・セーブ運動」の普及啓発活動を行うとともに、公共交通機関・自転車の利活用拡大を図るための施設整備等への支援を行うことにより、クルマに頼り過ぎない生活スタイルへの見直しを推進していく。</p>						
[受益者]			[想定される受益者数]			
県民（公共交通機関、自転車、自動車利用者）など			—			
他県の状況	<p>(富山県)</p> <p>①「富山県公共交通利用促進協議会」を設置し、ノーマイカー運動を実施し、チラシ作成・配布や広報活動を実施。(構成員：県、市町村、交通事業者、経済界および利用者)</p> <p>②「乗りたくなる公共交通推進事業補助金」(公共交通の利用促進を目的とした、実際に公共交通を利用した企画を実施する経費に対して支援)</p> <p>(石川県)</p> <p>①「生活バス利用促進対策費補助金」(バス事業者や市町、協議会等が取り組む先駆的・効果的な利用促進策に対して助成)</p>		前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 ノーマイカー交通促進支援事業 (実績) ノーマイカーデーはH11年度から毎月1日、16日に実施していたが、H20年度から金曜日に公共交通機関や自転車利用、相乗りの実施等によりクルマの利用を抑える「カー・セーブデー」に拡大。(H20年度は第2・4金曜日、H21年度以降は毎週金曜日) 補助事業については、27年度6月補正で補助スキーム組替え 補助実績 H27 6件・8,555千円 H26 7件・4,114千円 H25 7件・2,829千円 H24 9件・4,241千円		
関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 生活バス路線確保対策維持事業 (役割分担) 生活バス路線維持のための補助を実施		市町との連携状況	県民会議の構成員である各市町において、街頭キャンペーンやチラシ・啓発グッズの配布、広報誌やCATVでの広報活動を実施している。 また、県が運営する「ばす・でんしゃナビふくい」のホームページにおいて、各市町のコミバス情報も登録しており、ダイヤ等の見直しの際には、迅速に修正することで、正確な情報を提供している。 市町などが公共交通事業者や地元住民の意見を聞きながら、地域が一体となって特性に応じた利用しやすく、持続可能な公共交通網の整備を進める際に県が支援を実施している。		
[事業の評価]						
前年度の実績		実績を踏まえた29年度の変更点		事業評価		
県内各地で「カー・セーブ運動」の普及啓発活動や広報活動等を実施した。 補助事業は、引き続き、市町や交通事業者が実施するバス停上屋整備やパーク&ライド用駐車場整備、「自転車の駅」設置等に対して支援を行った。		カー・セーブ運動の推進には、電車・バス・自転車を組み合わせ、より利便性を高めることにより、クルマ利用からの転換を促す必要がある。このため、県民会議の中に自転車利用促進のための部会を設け、公共交通機関と自転車を合わせ、過度なクルマ利用の見直しを働きかけていく。 「ばす・でんしゃナビふくい」については運用を廃止し、掲載されている路線の大手サイトへの登録を事業者等に促す。		<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
				<input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	△ 1,174
				<input type="checkbox"/> 整理統合 <input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

自転車利用促進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	総合政策部	課名	交通まちづくり課	課長名	猪嶋宏記	
福井ふるさと元気宣言 における位置付け		■ 政推枠	ビジョン [元気な県土]			事業 区 分	<input type="checkbox"/> 国庫	■ 実行予算	事業 開始 年度	H28 年度	事業終了 予定年度	H30 年度
関連する県の計画等			政策 [美しい県土、楽しく便利なまちの形成]				<input checked="" type="checkbox"/> 県単	□ 補助金		経過年数		
			[]				<input type="checkbox"/> その他	□ その他		2 年		
<p>[事業目的]</p> <p>本県では、依然としてマイカー依存の高い状態が続いており、クルマに頼り過ぎない社会づくりの推進が必要である。そこで、平成30年度の福井しあわせ元気国体・大会に向け、モデル事業として自転車先進国オランダの事例を参考に、国体会場周辺などの自転車走行環境の整備を行うとともに、自転車利用の機運醸成を進め、クルマ利用から自転車利用への転換を図る。</p>												
<p>[事業内容]</p> <p>(1) 自転車走行環境の整備 ○東西の幹線（福井市さくら通りなど）、国体会場周辺の自転車走行環境を整備 (内容) ・歩道段差解消 ・路面表示設置 ・自転車走行帯整備</p> <p>(2) 自転車利用の機運醸成 ○民間との協働による福井の自転車文化の発信 (内容) ・北陸新幹線駅をスタート地点としたサイクリングのモデルコース設定、市町や観光協会とともに発信 ・自転車の専門家の知見を活かした施策展開のための市町自転車関係課とのワークショップ ・オランダ自転車・おもしろ自転車の活用 ・自転車持ち込み可能な電車・バスの拡大</p>												
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分												主な増減理由
当初予算額の推移												
2月現計予算額の推移												
決算額の推移												
[成果指標等の推移]												
区 分												目標・指標の考え方・積算根拠
成果指標		(目標)										クルマから自転車への転換および快適に自転車走行ができる環境を整備するものであり、成果指標の設定になじまない。
		実績										
活動指標	サイクリングコース発信 のためのイベント開催	(目標)								(3)	(3)	
		実績								3		
[財源内訳・事業主体等]												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体	県					
予算額	1,928				1,928	事業実施方法	直営					
						補助率						

事業評価

事業名	自転車利用促進事業	部局名	総合政策部	課名	交通まちづくり課	課長名	猪嶋宏記
[事業の必要性・要求の背景]							
<p>本県においては、依然としてマイカー依存の高い状態が続いており、クルマに頼り過ぎない社会づくりの推進が必要である。そこで、平成30年度の福井しあわせ元気国体・大会に向け、走行環境の整備や機運醸成により、自転車の利用を促進する必要がある。</p>							
[受益者]				[想定される受益者数]			
県内外の自転車利用者など				—			
他県の状況	<input type="radio"/> 愛媛県 ・「サイクリストの聖地」 ・全長約60kmにおよぶサイクリングコース （しまなみ海道・今治～尾道） ・橋梁の人工美と橋から眼下を望む潮流と海に浮かぶ多島美を楽しめる ・国内はもちろん、海外に向けても「サイクリストの聖地・しまなみ海道」をPRし、観光客増加に寄与 ・サイクリングしまなみ開催（国内最大規模の国際サイクリング大会）	前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 （実績）				
関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 （役割分担） 道路保全課：自転車走行環境の整備、自転車道ネットワークの拡大など 県民安全課：自転車の安全な利用の促進 （自転車安全講習会の開催など）	市町との連携状況	・クルマに頼り過ぎない社会づくり推進事業補助制度を創設（平成27年度から新スキーム）し、市町や企業・団体などがコミュニティサイクルの導入や「自転車の駅」の整備など自転車の利用環境整備を行う場合に支援を実施。 ※コンビニ、道の駅、公共施設などに自転車空気入れ、自転車パンク修理キット、修理工具などを配置し、自転車利用者にそれらの貸出しを行う場所を「自転車の駅」とする。また、「自転車の駅」では飲料水（水道水）の提供やトイレ使用のサービスも行う。				
[事業の評価]							
前年度の実績		実績を踏まえた29年度の変更点		事業評価			
新たに5kmの自転車安心通行帯を整備し走行環境を向上させたほか、オランダ自転車輸入や往時の自転車復元により、自転車利用の機運を高めた。		より広域的な利用拡大のための施策を検討するため、市町自転車利用関係課とのワークショップを充実。新たに観光協会等を加えて自転車利用の機運醸成を行う。自転車持ち込み可能な公共交通機関の拡大を図る。		<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
				<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
				<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

自動走行基盤整備支援事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	総合政策部	課名	交通まちづくり課	課長名	猪嶋宏記	
福井ふるさと元気宣言 における位置付け		■ 政推枠	ビジョン [元気な県土]			事業 区 分	<input type="checkbox"/> 国庫	<input type="checkbox"/> 実行予算	事業 開始 年度	H29 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度	H29 年度
関連する県の計画等			政策 [美しい県土、楽しく便利なまちの形成]				<input type="checkbox"/> 県単	<input checked="" type="checkbox"/> 補助金				
<p>[事業目的]</p> <p>クルマの自動走行実証実験を「永平寺参ろ一ど」に誘致することにより、永平寺を全国的にPRするとともに、過疎地域における高齢者など交通弱者の移動を支援する新たな交通システムを構築する。</p>												
<p>[事業内容]</p> <p>(1) 永平寺参ろ一どの整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クルマの自動走行の実証実験に必要な道路等の改修費用を支援する (道路の舗装・改修、柵撤去、白線敷設、橋脚補強・架け替え、電磁誘導線埋設、枝打ち 等) ・地方創生拠点整備交付金の補助対象経費のうち交付金等を除いた額の1/2以内を補助(上限30,000千円) 												
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	主な増減理由			
当初予算額の推移						30,000						
2月現計予算額の推移												
決算額の推移												
[成果指標等の推移]												
区 分		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	自動走行の実証実験 (目標) 実績					(開始)						
活動指標	永平寺参ろ一どの整備 (目標) 実績					(完了)						
[財源内訳・事業主体等]												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体	永平寺町					
予算額	30,000				30,000	事業実施方法	補助					
						補助率	国の支援を除く町負担額の1/2					

事業評価

事業名	自動走行基盤整備支援事業	部局名	総合政策部	課名	交通まちづくり課	課長名	猪嶋宏記	
[事業の必要性・要求の背景]								
<p>地域公共交通の革新に向け、京福電鉄廃線跡を活用したクルマの自動走行の実証を福井県高速交通開通アクション・プログラムに掲載。 自動走行の実証に必要な永平寺参ろ一どの整備について、永平寺町が地方創生拠点整備交付金を活用して実施することから、県も関連設備等の支援を行う。</p>								
[受益者]				[想定される受益者数]				
沿線住民、観光客				—				
他県の状況	—			前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)			
関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 交通機関への再生可能エネルギー活用事業 (役割分担) えちぜん鉄道永平寺口駅に再生可能エネルギー設備を導入し、駅からの二次交通（自動走行車）に電気を供給する。			市町との連携状況	永平寺参ろ一どについて、永平寺町が国の地方創生拠点整備交付金を活用して整備し、町も県と同額を負担する。			
[事業の評価]								
前年度の実績		実績を踏まえた29年度の変更点			事業評価			
					<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
					<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
					<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

交通機関への再生可能エネルギー活用事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	総合政策部	課名	交通まちづくり課		課長名	猪嶋宏記
福井ふるさと元気宣言 における位置付け		■ 政推枠	ビジョン [元気な県土]			事業 区 分	■ 国庫	■ 実行予算	事業 開始 年度	H29 年度	事業終了 予定年度	H29 年度
関連する県の計画等			政策 [電車・バス・自転車の利活用拡大]				□ 県単	□ 補助金		経過年数		
[事業目的] 鉄道駅を拠点としたバスや自動走行車等の交通機関に、太陽光発電等の再生可能エネルギーと回生エネルギーを供給・活用し交通結節機能を強化するモデルとするため、駅に再生可能エネルギー設備等を導入する。 また、将来の並行在来線や地域鉄道の駅施設等への設備導入を検討するため、想定される設置場所や発電量を調査する。												
[事業内容] (1) 鉄道駅の交通結節機能強化 [事業費：300,000千円] 官民連携による自動走行車の実証実験が予定されており、中部縦貫自動車道の開通による交流人口の拡大が期待されるなど、交通結節機能強化のモデルとなりうるえちぜん鉄道永平寺口駅において、再生可能エネルギー設備を導入する。 駅からの二次交通の充実を図るため、駅施設に再生可能エネルギー設備を導入し、永平寺口駅から大本山永平寺を結ぶ自動走行車の動力とするほか、駅舎照明や空調、街路灯などへも電気を供給する。 また、コミュニティバスのEV化やP&R駐車場への電気自動車充電器設置など、交通結節機能強化に向けた検討を行う。												
(2) 再生可能エネルギー設備の導入可能性調査 [事業費：30,000千円] 駅施設等への再生可能エネルギー設備を導入し経営コスト削減を図るため、設備の設置場所の調査、設備を設置した場合の発電量の調査、二次交通の充実を図るための調査を実施する。												
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	主な増減理由			
当初予算額の推移						330,000						
2月現計予算額の推移												
決算額の推移												
[成果指標等の推移]												
区 分		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	自動走行車への電気供給 (目標)					(電気供給)						
	実績											
活動指標	再エネ設備導入 (目標)					(導入)						
	実績											
[財源内訳・事業主体等]												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体		県				
予算額	330,000	330,000			0	事業実施方法		直営				
						補助率						

事業評価

事業名	交通機関への再生可能エネルギー活用事業	部局名	総合政策部	課名	交通まちづくり課	課長名	猪嶋宏記
[事業の必要性・要求の背景]							
<p>地域公共交通の革新に向け、京福電鉄廃線跡を活用したクルマの自動走行の実証を福井県高速交通開通アクション・プログラムに掲載。駅からの二次交通の利便性向上を図るため、自動走行車（EV車）の実証事業実施に合わせて、鉄道施設を活かした再生可能エネルギーにより車両への電気供給を行う。</p> <p>また、鉄道事業者の経営コスト低減の1つの方策として、再生可能エネルギーの活用による動力費削減が有効と考えられるため、県内地域鉄道事業者に導入するための調査を実施する。</p>							
[受益者]				[想定される受益者数]			
えちぜん鉄道、えちぜん鉄道利用者、観光客				えちぜん鉄道年間利用者約350万人			
他県の状況	JR東日本、JR九州、東武鉄道、京王電鉄、大阪市交通局、東京モノレール、札幌市交通局など、都市鉄道においては再生可能エネルギー設備を導入する事例が多数あり			前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)		
関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 自動走行基盤整備支援事業 (役割分担) 永平寺参ろ一どを走行する自動走行車に、本事業で設置した再生可能エネルギーで発生させた電気を供給する。			市町との連携状況	永平寺参ろ一どについて、永平寺町が国の地方創生拠点整備交付金を活用して整備する。		
[事業の評価]							
前年度の実績		実績を踏まえた29年度の変更点		事業評価			
				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
				<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
				<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

山里口御門整備事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	総合政策部	課名	交通まちづくり課	課長名	猪嶋 宏記	
福井ふるさと元気宣言 における位置付け		■ 政推枠 ビジョン	[元気な県土]			事業 区分	<input type="checkbox"/> 国庫	■ 実行予算	事業 開始 年度	H25 年度	事業終了 予定年度	H29 年度
関連する県の計画等		政策	[美しい県土、楽しく便利なまちの形成]				<input checked="" type="checkbox"/> 県単	□ 補助金	経過年数	5 年		
			[県都デザイン戦略]			<input type="checkbox"/> その他	□ その他					
[事業目的]												
「福井城址」を核とした県都の再生として、歴史を生かした福井城址と中央公園の一体的な再整備や、県民会館跡地周辺の先行的な利活用を進めるため、平成19年度に復元した御廊下橋の動線上に位置する山里口御門を復元する。												
[事業内容]												
<p>完成式、報告書作成等 9,723千円 ・完成式の開催、報告書（完成記念誌）の作成、パンフレットの作成、寄附金の募集</p> <p>展示物制作 5,219千円 ・櫓門2階内部における展示物の企画、制作・設置</p> <p>復元考証専門委員会 229千円 ・復元に向けて専門家による助言を得るための委員会を設置</p>												
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	主な増減理由			
当初予算額の推移		10,127	191,347	525,861	300,940	15,171			年次計画による事業費の減少			
2月現計予算額の推移		10,127	206,675	333,942	257,042							
決算額の推移		9,687	151,642	155,603								
[成果指標等の推移]												
区 分		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	(目標) 実績								福井城址を中心として歴史を感じることのできる空間を整備するものであり、成果指標の設定になじまない。			
活動指標	(目標) 実績					(完成)						山里口御門の完成
[財源内訳・事業主体等]												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体	県					
予算額	15,171			寄付金 451	14,720	事業実施方法	直営					
						補助率						

事業評価

事業名	山里口御門整備事業	部局名	総合政策部	課名	交通まちづくり課	課長名	猪嶋 宏記
[事業の必要性・要求の背景]							
<p>平成25年3月に県と福井市で策定した県都デザイン戦略に基づき、「福井城址」を中心とした県都の再生のために整備するものである。福井城址公園の先行整備の一環として、整備済みの御廊下橋との連続性を生かし、平成30年を目指して整備している福井市中央公園と一体となった、歴史を感じられる空間を創出する。平成25年度の基本設計、26年度の実施設計に基づき、平成27年度から工事を実施しており、その完成年度として予算要求するものである。</p>							
[受益者]				[想定される受益者数]			
県民、福井市民、観光客など				—			
他県の状況	石川県では金沢城を順次復元し、金沢城公園整備を行っている。 平成8年→17年 第1期工事 事業費235億円 (菱櫓、五十間長屋、橋爪門続櫓) 平成18年→26年 第2期工事 事業費64億円 (河北門、橋爪門、いもり堀、玉泉院丸庭園等) 平成27年→33年 第3期計画着手(鼠多門、鼠多門橋等)	前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)				
関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)	市町との連携状況	—				
[事業の評価]							
前年度の実績		実績を踏まえた29年度の変更点		事業評価			
御門復元等の工事を推進(建築工事(櫓門土塀、土塀)、周辺整備工事を29年度に繰越し)		29年度の工事完成にあわせ、展示物の企画・制作、完成式の開催、復元記念誌やパンフレットの発行等の事業を実施。		<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
				<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
				<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

県都デザイン戦略推進支援事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	総合政策部	課名	交通まちづくり課	課長名	猪嶋 宏記																																												
福井ふるさと元気宣言における位置付け		■ 政推枠	ビジョン [元気な県土]			事業 区 分	<input type="checkbox"/> 国庫	<input type="checkbox"/> 実行予算	事業 開始 年度	H25 年度 経過年数 5 年	事業終了 予定年度	H29 年度																																											
関連する県の計画等			政策 [美しい県土、楽しく便利なまちの形成]				<input type="checkbox"/> 県単	<input checked="" type="checkbox"/> 補助金					<input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> その他																																									
<p>[事業目的]</p> <p>県都デザイン戦略において、北陸新幹線金沢開業、福井国体開催に向け、短期に実施することとした事業を推進することにより、都市の魅力を高め、次の世代に受け継ぐ県都づくりを進める。</p>																																																							
<p>[事業内容]</p> <p>○県都デザイン戦略に位置付けた、短期目標年次（2018年）までに実施する福井市の事業に対して補助</p> <p>○補助スキーム</p> <p>【対象事業】 ・ 県都デザイン戦略を機に、新たに実施する事業（平成25年度～29年度までの5か年のうち、単年もしくは連続する5か年以内の期間）</p> <p>・ 社会資本整備総合交付金（都市再生整備計画事業）を活用して行う事業（その他の国、県の補助対象事業を除く）</p> <p>○補助対象事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 中央公園周辺再整備事業（H25～H29） ・ 市道県庁線整備事業（H26～H28） ・ 城址周辺道路整備事業（H28～H29） 																																																							
<p>[予算額の推移等] （単位：千円）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">区 分</th> <th style="width: 5%;">25年度</th> <th style="width: 5%;">26年度</th> <th style="width: 5%;">27年度</th> <th style="width: 5%;">28年度</th> <th style="width: 5%;">29年度</th> <th style="width: 5%;">30年度</th> <th style="width: 5%;">31年度</th> <th style="width: 50%;">主な増減理由</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>当初予算額の推移</td> <td>15,812</td> <td>33,797</td> <td>124,162</td> <td>133,379</td> <td>110,000</td> <td></td> <td></td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">年次計画による事業費の減少</td> </tr> <tr> <td>2月現計予算額の推移</td> <td>8,924</td> <td>17,377</td> <td>161,714</td> <td>120,927</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>決算額の推移</td> <td>7,501</td> <td>16,191</td> <td>61,891</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>													区 分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	主な増減理由	当初予算額の推移	15,812	33,797	124,162	133,379	110,000			年次計画による事業費の減少	2月現計予算額の推移	8,924	17,377	161,714	120,927				決算額の推移	7,501	16,191	61,891													
区 分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	主な増減理由																																															
当初予算額の推移	15,812	33,797	124,162	133,379	110,000			年次計画による事業費の減少																																															
2月現計予算額の推移	8,924	17,377	161,714	120,927																																																			
決算額の推移	7,501	16,191	61,891																																																				
<p>[成果指標等の推移]</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">区 分</th> <th style="width: 5%;">25年度</th> <th style="width: 5%;">26年度</th> <th style="width: 5%;">27年度</th> <th style="width: 5%;">28年度</th> <th style="width: 5%;">29年度</th> <th style="width: 5%;">30年度</th> <th style="width: 5%;">31年度</th> <th style="width: 50%;">目標・指標の考え方・積算根拠</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>成果指標</td> <td>(目標)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td rowspan="2" style="text-align: center;">福井城址を中心として歴史を感じることのできる空間整備に対して支援しているものであり、成果指標の設定になじまない。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>実績</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>活動指標</td> <td>(目標)</td> <td></td> <td>(中央公園(1期)完成)</td> <td>(市道県庁線完成)</td> <td>(中央公園(2期)、城址周辺道路完成)</td> <td></td> <td></td> <td rowspan="2" style="text-align: center;">山里口御門の完成（H28）や福井国体（H30）にあわせて周辺施設を整備する。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>実績</td> <td></td> <td></td> <td>中央公園(1期)完成</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>													区 分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	目標・指標の考え方・積算根拠	成果指標	(目標)							福井城址を中心として歴史を感じることのできる空間整備に対して支援しているものであり、成果指標の設定になじまない。		実績							活動指標	(目標)		(中央公園(1期)完成)	(市道県庁線完成)	(中央公園(2期)、城址周辺道路完成)			山里口御門の完成（H28）や福井国体（H30）にあわせて周辺施設を整備する。		実績			中央公園(1期)完成			
区 分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	目標・指標の考え方・積算根拠																																															
成果指標	(目標)							福井城址を中心として歴史を感じることのできる空間整備に対して支援しているものであり、成果指標の設定になじまない。																																															
	実績																																																						
活動指標	(目標)		(中央公園(1期)完成)	(市道県庁線完成)	(中央公園(2期)、城址周辺道路完成)			山里口御門の完成（H28）や福井国体（H30）にあわせて周辺施設を整備する。																																															
	実績			中央公園(1期)完成																																																			
<p>[財源内訳・事業主体等]</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 5%;">区分</th> <th style="width: 10%;">事業費</th> <th style="width: 10%;">国庫</th> <th style="width: 10%;">起債</th> <th style="width: 10%;">その他</th> <th style="width: 10%;">一般財源</th> <th style="width: 10%;">事業主体</th> <th style="width: 10%;">福井市</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>予算額</td> <td>110,000</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>110,000</td> <td>事業実施方法</td> <td>補助</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>補助率</td> <td>国4.5/10、県2.75/10以内</td> </tr> </tbody> </table>													区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体	福井市	予算額	110,000				110,000	事業実施方法	補助							補助率	国4.5/10、県2.75/10以内																			
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体	福井市																																																
予算額	110,000				110,000	事業実施方法	補助																																																
						補助率	国4.5/10、県2.75/10以内																																																

事業評価

事業名	県都デザイン戦略推進支援事業	部局名	総合政策部	課名	交通まちづくり課	課長名	猪嶋 宏記
[事業の必要性・要求の背景] 県都デザイン戦略では福井城址を中心とした、歴史を象徴し、人が集まる空間の形成を目指している。その実現に向け、福井市に対して補助を行い、平成30年の福井国体に向け整備を推進する。							
[受益者] 県民、福井市民ほか				[想定される受益者数] —			
他県の状況	—	前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)				
関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)	市町との連携状況	福井市が事業主体であるが、県としても意見を述べながら事業を進めている。				
[事業の評価]							
前年度の実績		実績を踏まえた29年度の変更点		事業評価			
中央公園再整備については、1期工事が完了し、2期工事に着手している。 城址周辺道路整備については、基本設計・実施設計が進められている。 市道県庁線整備については、南側歩道、車道、消融雪設備等の整備が進められており、平成29年春に完了予定である。		中央公園再整備については、2期工事が完了する予定である。(1期工事は平成28年度に完了、2期工事区域の供用は、芝生養生期間を確保するため平成30年夏の予定) 城址周辺道路整備については、平成28年度の実施設計をもとに工事に着手し、福井駅西口広場から城址・中央公園を結ぶ導線整備が平成29年度に完了する予定である。		<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の見直し <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> その他	見直し額

鉄道遺産の保存・活用調査事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	総合政策部	課名	交通まちづくり課	課長名	猪嶋 宏記	
福井ふるさと元気宣言 における位置付け		■ 政推枠	ビジョン [新幹線敦賀開業・中部縦貫道全通プロジェクト]			事業 区 分	■ 国庫	■ 実行予算	事業 開始 年度	H28 年度	事業終了 予定年度	H29 年度
		政策 [新幹線沿線のまちづくり]			□ 県単		□ 補助金	経過年数				
関連する県の計画等		[福井県高速交通開通アクション・プログラム]			□ その他		□ その他	2 年				
<p>[事業目的]</p> <p>「福井県高速交通開通アクション・プログラム」に掲げている「金ヶ崎周辺整備構想の実現」に向け、鉄道遺産の一つである転車台と合わせ、レトロ列車の動態保存を検討し、北陸新幹線敦賀開業後に「鉄道と港のまち敦賀」を印象づける観光資源とするための方策を検討する。</p>												
<p>(1) 転車台の使用可能性調査 金ヶ崎に一時保存しているJR敦賀駅の転車台を使用するために必要な調査を行う。</p> <p>(2) レトロ列車の走行可能性調査等 現在保存されているSLを走行させるために必要な調査を実施する。</p>												
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	主な増減理由			
当初予算額の推移						42,614						
2月現計予算額の推移					32,300							
決算額の推移												
[成果指標等の推移]												
区 分		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	(目標) 実績								転車台を観光資源として整備するための移設、活用方法の検討を行うための事業であり、成果指標の設定になじまない。			
活動指標	(目標) 実績								転車台を観光資源として整備するための移設、活用方法の検討を行うための事業であり、活動指標の設定になじまない。			
[財源内訳・事業主体等]												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体		県				
予算額	42,614	42,614			0	事業実施方法		直営				
						補助率						

事業評価

事業名	鉄道遺産の保存・活用調査事業	部局名	総合政策部	課名	交通まちづくり課	課長名	猪嶋 宏記	
[事業の必要性・要求の背景]								
<p>旧国鉄北陸本線の敦賀・今庄間（26.4km）にあるトンネル群は、県がこれらを巡るバスツアーを開催するなどして、観光資源として活用されている。旧北陸本線は、1962年（昭和37年）に廃線されるまでSLが走行しており、これらの機関車の車両基地として、敦賀駅の扇形機関車庫および転車台は北陸本線を走る機関車の拠点の一部として重要な役割を担ってきた。平成6年に機関車庫は解体されたが、転車台はトンネル群とともに、「鉄道のまち敦賀」を象徴する鉄道遺産の一つであり、観光資源としても十分に活用できるものとする。</p> <p>移設にあわせて現状調査・保存活用方策の検討を行うことにより、敦賀市と具体的な活用方法（設置場所、展示方法等）を協議していく。</p>								
[受益者]				[想定される受益者数]				
県民、県外からの観光客等								
他県の状況				前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)			
関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)			市町との連携状況	転車台の設置場所、SLの動態保存方法等について敦賀市と協議中			
[事業の評価]								
前年度の実績		実績を踏まえた29年度の変更点			事業評価			
JR敦賀駅構内の転車台を撤去し、一時保存した。		使用可能性調査を行い、北陸新幹線敦賀開業後に「鉄道と港のまち敦賀」を印象づける観光資源とするための方策を検討する。			<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
					<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
					<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

並行在来線収支予測調査・経営基本調査事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	総合政策部	課名	交通まちづくり課		課長名	猪嶋宏記																																				
福井ふるさと元気宣言 における位置付け		■ 政推枠	ビジョン [元気な県土]			事業 区 分	<input type="checkbox"/> 国庫	■ 実行予算	事業 開始 年度	H25 年度	事業終了 予定年度	H30 年度																																				
関連する県の計画等			政策 [美しい県土、楽しく便利なまちの形成]				<input checked="" type="checkbox"/> 県単	□ 補助金		経過年数																																						
			[]				<input type="checkbox"/> その他	□ その他		5 年																																						
<p>[事業目的]</p> <p>福井県並行在来線対策協議会が開業3年前に策定する経営計画案において、並行在来線の列車の運行、施設・車両、組織・要員、収支等を見込む必要があるため、様々な条件下での収支を試算し、経営の基本方針を策定する基礎資料とする。</p>																																																
<p>[事業内容]</p> <p>平成30年度に協議会で策定を予定している「経営の基本方針（案）」に向けた調査を実施。 ※経営の基本方針（案）で定める事項 　・単独会社か合同会社か　　・上下一体か上下分離か　　・相互乗入れの要否 　・暫定指令か独自指令か　　・車両基地　　・JRに対する支援の要請 平成25年度：現況調査　　平成27年度：旅客流動調査　　平成28年度：需要予測調査 平成29年度：収支予測調査、経営基本調査　　平成30年度：経営計画調査</p> <p>○平成29年度の調査内容 県内並行在来線区間（石川県境・敦賀駅間）の平成27年度旅客流動調査および平成28年度需要予測調査の結果を基に、鉄道資産状況や要員計画等から収支を分析し、新設会社の組織や要員数等適切な経営規模および基本的な経営のあり方を調査する。</p>																																																
<p>[予算額の推移等] （単位：千円）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">区 分</th> <th style="width: 5%;">25年度</th> <th style="width: 5%;">26年度</th> <th style="width: 5%;">27年度</th> <th style="width: 5%;">28年度</th> <th style="width: 5%;">29年度</th> <th style="width: 5%;">30年度</th> <th style="width: 5%;">31年度</th> <th style="width: 40%;">主な増減理由</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>当初予算額の推移</td> <td style="text-align: right;">3,875</td> <td style="text-align: right;">0</td> <td style="text-align: right;">19,870</td> <td style="text-align: right;">6,480</td> <td style="text-align: right;">16,686</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2月現計予算額の推移</td> <td style="text-align: right;">3,875</td> <td style="text-align: right;">0</td> <td style="text-align: right;">19,870</td> <td style="text-align: right;">6,480</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>決算額の推移</td> <td style="text-align: right;">3,759</td> <td style="text-align: right;">0</td> <td style="text-align: right;">19,440</td> <td style="text-align: right;">6,286</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>													区 分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	主な増減理由	当初予算額の推移	3,875	0	19,870	6,480	16,686				2月現計予算額の推移	3,875	0	19,870	6,480					決算額の推移	3,759	0	19,440	6,286				
区 分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	主な増減理由																																								
当初予算額の推移	3,875	0	19,870	6,480	16,686																																											
2月現計予算額の推移	3,875	0	19,870	6,480																																												
決算額の推移	3,759	0	19,440	6,286																																												
<p>[成果指標等の推移]</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">区 分</th> <th style="width: 5%;">25年度</th> <th style="width: 5%;">26年度</th> <th style="width: 5%;">27年度</th> <th style="width: 5%;">28年度</th> <th style="width: 5%;">29年度</th> <th style="width: 5%;">30年度</th> <th style="width: 5%;">31年度</th> <th style="width: 40%;">目標・指標の考え方・積算根拠</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>成果指標</td> <td>平成30年度に協議会で策定を予定している「経営の基本方針（案）」の基礎資料とする。</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>活動指標</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>並行在来線会社の経営の基本方針策定に向けた調査を行う事業であり、活動指標の設定になじまない。</td> </tr> </tbody> </table>													区 分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	目標・指標の考え方・積算根拠	成果指標	平成30年度に協議会で策定を予定している「経営の基本方針（案）」の基礎資料とする。								活動指標								並行在来線会社の経営の基本方針策定に向けた調査を行う事業であり、活動指標の設定になじまない。									
区 分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	目標・指標の考え方・積算根拠																																								
成果指標	平成30年度に協議会で策定を予定している「経営の基本方針（案）」の基礎資料とする。																																															
活動指標								並行在来線会社の経営の基本方針策定に向けた調査を行う事業であり、活動指標の設定になじまない。																																								
<p>[財源内訳・事業主体等]</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 5%;">区分</th> <th style="width: 15%;">事業費</th> <th style="width: 15%;">国庫</th> <th style="width: 15%;">起債</th> <th style="width: 15%;">その他</th> <th style="width: 15%;">一般財源</th> <th style="width: 10%;">事業主体</th> <th style="width: 5%;">県</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>予算額</td> <td style="text-align: right;">16,686</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: right;">16,686</td> <td>事業実施方法</td> <td>直営</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>補助率</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>													区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体	県	予算額	16,686				16,686	事業実施方法	直営							補助率													
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体	県																																									
予算額	16,686				16,686	事業実施方法	直営																																									
						補助率																																										

事業評価

事業名	並行在来線収支予測調査・経営基本調査事業	部局名	総合政策部	課名	交通まちづくり課	課長名	猪嶋宏記
[事業の必要性・要求の背景]							
<p>平成24年3月 9日 並行在来線の経営分離に同意すること、経営分離後もその存続を図ることについて、県と沿線市町が合意</p> <p>平成24年5月16日 県と沿線市は、並行在来線の経営分離に関する国からの照会に対して同意回答</p> <p>平成25年3月29日 並行在来線対策協議会（県、沿線市町、経済団体、利用者団体、交通事業者など）を設置</p> <p>J Rから経営が分離される並行在来線を将来にわたって安定的に運営していくためには、長期的な視点で計画的に経営することが求められる。そのためには、開業後に必要となる資産や要員等を把握する必要があるため、収支予測調査・経営基本調査を実施する。</p>							
[受益者]				[想定される受益者数]			
県民全体				—			
他県の状況	石川県 H21、22年度に同調査実施 富山県 H19、20、21年度に同調査実施 ※全ての3セク先行県において収支予測調査・経営基本調査を実施しており、3セク会社の設立に向けて必要不可欠な調査である。	前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)				
関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 並行在来線対策事業 (役割分担) ・本調査で明らかになった課題等について、関連事業の中の並行在来線対策協議会・幹事会において協議・検討を行う。	市町との連携状況					
[事業の評価]							
前年度の実績		実績を踏まえた29年度の変更点		事業評価			
平成27年度に実施した旅客流動調査の結果をもとに、需要予測調査を実施した。		開業後に必要となる資産や要員等を把握する必要があるため、収支予測調査・経営基本調査を実施する。		<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
				<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
				<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

並行在来線対策事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	内	部局名	総合政策部	課名	交通まちづくり課	課長名	猪嶋 宏記	
福井ふるさと元気宣言 における位置付け	<input type="checkbox"/>	政推枠	ビジョン [元気な県土] 政策 [美しい県土、楽しく便利なまちの形成]			事業 区分	<input type="checkbox"/> 国庫 <input checked="" type="checkbox"/> 県単 <input type="checkbox"/> その他	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業 開始 年度	H24 年度 経過年数 6 年	事業終了 予定年度	H34 年度
関連する県の計画等			[]									
[事業目的]												
県や沿線市町、経済界等の関係機関で構成する並行在来線対策協議会において、北陸新幹線の敦賀開業時にJR西日本から経営分離される並行在来線（北陸本線 石川県境・敦賀間）のあり方について協議する。												
[事業内容]												
(1) 並行在来線対策協議会、幹事会の開催 (2) 経営・運行専門委員会の開催 (2) 広報の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・公共交通フェスタ（仮）の開催 ・出前講座の実施 ・並行在来線リーフレットの作成 												
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	主な増減理由			
当初予算額の推移		4,900	1,306	1,175	911	1,563	1,563	1,563	・経営・運行専門委員会の開催 ・広報の拡充			
2月現計予算額の推移		4,900	1,306	1,175	911							
決算額の推移		4,712	1,300	1,175								
[成果指標等の推移]												
区 分		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	並行在来線会社の設立と 安定的な運営	(目標) 実績							指標を達成するため、課題を検討			
活動指標	並行在来線対策協議会・ 幹事会の開催	(目標) 実績	(1) 1	(2) 2	(2) 1	(2) 1						
[財源内訳・事業主体等]												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体	県					
予算額	1,563				1,563	事業実施方法	直営					
						補助率						

事業評価

事業名	並行在来線対策事業	部局名	総合政策部	課名	交通まちづくり課	課長名	猪嶋 宏記
<p>[事業の必要性・要求の背景]</p> <p>平成24年3月 9日 並行在来線の経営分離に同意すること、経営分離後もその存続を図ることについて、県と沿線市町が合意 平成24年5月16日 県と沿線市は、並行在来線の経営分離に関する国からの照会に対して同意回答 平成25年3月29日 並行在来線対策協議会（県、沿線市町、経済団体、利用者団体、交通事業者など）を設置</p> <p>・ 県民の日常生活に欠かせない重要な社会基盤である並行在来線を地域鉄道として存続させるため、需要予測、収支予測など必要な調査を順次実施し、並行在来線対策協議会において、経営形態、列車の運行形態、負担および支援等について協議していく。 ・ 県民に対して、並行在来線のあり方、検討状況等について広く理解していただくため、県民参加型イベントおよび出前講座の開催のほか、リーフレットを作成する。</p>							
[受益者]				[想定される受益者数]			
県民全体				—			
他県の状況	石川県および富山県 H17 並行在来線対策協議会設置 その後、各種調査（旅客流動調査、需要予測調査等）の実施および講演会などの県民広報を実施。 H24 並行在来線準備会社設立 H26 並行在来線の経営引継	前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 （実績）				
関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 並行在来線収支予測調査・経営基本調査事業（役割分担） 関連事業において、3セク会社の将来収支の予測と経営の基本的事項のあり方を調査する。また、関連事業で明らかになった課題等について、本事業の幹事会・協議会等で関係者との協議・検討を行うとともに、経営・運行専門委員会を開催し、実務的な助言をもらう。	市町との連携状況					
[事業の評価]							
前年度の実績		実績を踏まえた29年度の変更点		事業評価			
・ 並行在来線対策協議会、幹事会の開催（年度末）（予定） ・ 講演会の開催（3月予定） ・ 出前講座の実施（2月末現在 46回実施）※目標：30回 ・ 並行在来線リーフレットの作成（8月）		経営の基本方針の素案を作成するため、経営・運行専門委員会を開催し、専門的・実務的な観点から助言をもらう。		<input type="checkbox"/> 拡充	縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
				<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
				<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

小松空港国際線利用促進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	総合政策部	課名	交通まちづくり課	課長名	猪嶋 宏記	
福井ふるさと元気宣言 における位置付け		■ 政推枠	ビジョン [元気な県土] 政策 [美しい県土、楽しく便利なまちの形成]			事業 区分	<input type="checkbox"/> 国庫 <input checked="" type="checkbox"/> 県単 <input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input checked="" type="checkbox"/> その他	事業 開始 年度	H18 年度 経過年数 12 年	事業終了 予定年度	H30 年度
関連する県の計画等			[]									
[事業目的] 福井・石川両県の行政や経済界等からなる小松空港国際線利用促進同盟会を通じ、上海便など小松空港国際線の利用促進を行う。												
[事業内容] ○小松空港国際線利用促進同盟会負担金 (主な活動内容) ・新聞やラジオなどによる広報活動 ・両県でのショッピングセンターや主要駅におけるキャンペーン ・就航国との連携イベントにおける双方向でのPR ・就航国の現地取材による旅行記事の雑誌掲載 ・テレビでの旅行番組の放映によるPR ・チャーター便旅行商品に係る広報への支援												
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	主な増減理由			
当初予算額の推移		2,500	2,500	2,500	2,500	2,500	2,500	2,500				
2月現計予算額の推移		2,500	2,500	2,500	2,500							
決算額の推移		2,500	2,500	2,500								
[成果指標等の推移]												
区 分		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	小松空港国際線利用人員 (目標)	(-)	(-)	(-)					小松空港国際線定期便の年間利用人員 (単位：千人)			
	実績	158	176	172								
活動指標	PR活動の実施 (目標)	(-)	(-)	(-)								
	実績	2	2	2	2							
[財源内訳・事業主体等]												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体		小松空港国際線利用促進同盟会				
予算額	2,500				2,500	事業実施方法		負担金				
						補助率		-				

事業評価

事業名	小松空港国際線利用促進事業	部局名	総合政策部	課名	交通まちづくり課	課長名	猪嶋 宏記
<p>[事業の必要性・要求の背景]</p> <p>・小松空港国際線利用促進同盟会は、石川・福井両県知事の合意に基づき設立し、両県の行政や経済界等で構成されている。同盟会を通じ国際線の利用促進をPRし、小松空港の利活用推進に取り組んでいく必要がある。</p>							
<p>[受益者]</p> <p>小松空港国際線の利用者など</p>				<p>[想定される受益者数]</p> <p>約15千人（小松空港国際線を利用する福井県民・推計）</p>			
他県の状況	石川県負担金 10,000千円			前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)		
関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 小松空港国際定期路線開拓推進事業 (役割分担) 本事業による広報とは異なり、福井県民向けに特化した広報内容とするほか、国際定期路線を利用した国際交流事業を行う県内団体への補助を行う。			市町との連携状況			
<p>[事業の評価]</p>							
前年度の実績		実績を踏まえた29年度の変更点		事業評価			
台北便が航空会社の全社的な機材入替により週5便運航となったが、別途台北便のチャーター便で補ったため、上海便、台北便、ソウル便を合わせた平成28年度9月末の国際線旅客数は95,020人（前年度比97.0%）と前年度とほぼ同水準にある。		新たな定期路線就航に向け、チャーター便（香港便など）の運航を推進する。		<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
				<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
				<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

小松空港国際定期路線開拓推進事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	総合政策部	課名	交通まちづくり課		課長名	猪嶋 宏記
福井ふるさと元気宣言 における位置付け		■ 政推枠	ビジョン [元気な産業]			事業 区分	<input type="checkbox"/> 国庫	■ 実行予算	事業 開始 年度	H29 年度	事業終了 予定年度	H32 年度
関連する県の計画等			政策 [観光フロンティア・福井]				<input checked="" type="checkbox"/> 県単	■ 補助金		経過年数		
			[]				<input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> その他		1 年		
[事業目的] 小松空港と香港をはじめアジア各国を結ぶ国際線の定期路線開拓を後押しすることにより、ビジネス・観光両面での交流人口拡大を図る。												
[事業内容] (1) 県民による国際線利用促進 [2,368千円] ①各種広報媒体を利用した県民向け利用促進プロモーションの実施 ・電車中吊り広告、ラジオスポットCM、周知チラシ作成(県内経済団体、旅行会社、市町等に配布) ②小松空港国際定期便を利用する場合の国際交流費助成(補助金) ・小松空港国際線を利用し、就航地を訪問または就航地の団体受け入れを実施する福井県内の団体に対し助成 ・対象経費：国際交流事業の経費(交流会費、講師謝金、通訳費等) ・補助額：1人当たり5千円(1団体100千円上限) ・対象者：経済、文化、スポーツなどにより国際交流事業を実施する福井県内の団体(親善協会、スポーツ協会等) (2) 外国人観光客の拡大 [1,376千円] 【広域誘客課】 香港メディアによるPR(石川県との連携) ・福井県、石川県の観光地等を現地メディアがPRすることにより、海外における両県の認知度向上および誘客促進 ・取材メディア数 5社												
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	主な増減理由			
当初予算額の推移						2,368	2,368	2,368				
2月現計予算額の推移												
決算額の推移												
[成果指標等の推移]												
区 分		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	国際定期路線の開拓 (目標)								国際定期路線の開拓を後押しするものであり、成果指標の設定になじまない。			
	実績											
活動指標	県内団体への補助 (目標)					(10)	(10)	(10)				
	実績											
[財源内訳・事業主体等]												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体	県、小松空港国際線利用促進同盟会					
予算額	2,368	1,184			1,184	事業実施方法	直営、補助金					
						補助率	10/10(上限100千円)					

事業評価

事業名	小松空港国際定期路線開拓推進事業	部局名	総合政策部	課名	交通まちづくり課	課長名	猪嶋 宏記	
<p>[事業の必要性・要求の背景]</p> <p>福井県の空の玄関口である小松空港の利用者は、北陸新幹線金沢開業による国内線の落ち込みにより、大きく利用者が減っている。福井延伸後には、さらに利用者が減少すると考えられる。このため、国際線の利用を伸ばすことが重要である。</p> <p>国際定期路線の開拓には、路線の需要を見込むために先行して運行するチャーター便によるインバウンド（現地客）の実績が必要であるとともに、路線の維持のためにはアウトバウンド（県内ほか北陸の地元客）需要を喚起することが重要である。</p> <p>このため、若者層など幅広い利用者の獲得とリピーターの確保のため、現地団体と交流事業を行う民間団体への支援を行うとともに、県民向けに特化した周知・広報を実施し、定期路線開拓を後押しする。</p>								
[受益者]				[想定される受益者数]				
小松空港国際線の利用者など				約15千人（小松空港国際線を利用する福井県民・推計）				
他県の状況	小松空港国際定期便利用国際交流事業促進助成金（石川県） 対象者：小松空港発着の国際定期便により、韓国、中国または台湾を訪問したり、現地の団体を受け入れて国際交流事業を実施する石川県内の団体 対象経費：国際交流事業の経費（交流会費、講師謝金、通訳費等） 補助額：1人当たり5千円（1団体100千円上限）	前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 （実績）					
関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 小松空港国際線利用促進事業 （役割分担） 本事業においては、福井県民向けに特化した広報を行うほか、国際定期路線を利用した国際交流事業を行う県内団体への補助を行う。	市町との連携状況						
[事業の評価]								
前年度の実績		実績を踏まえた29年度の変更点			事業評価			
					<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
					<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
					<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	